

市議会議員
かけのまち子

電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.600 2026.9.17
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

＊困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP 検索

9月議会
一般質問
9月3日

交通児童遊園の貴重な緑の存続を

交通児童遊園の緑地の南半分に江南警察署を建設・移転させ、北半分に統合保育園(布袋・布袋西を統合)を建設する計画が県と市の間で進んでいます。

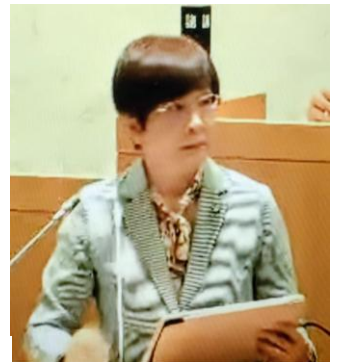
広大な都市公園をつぶす代わりに、市が警察署跡地に都市公園を再整備し、それでも尚不足する公園面積を補うため、布袋北部学供や南部給食センター跡地も公園にする必要があります。

緑あふれる木立が、全て伐採され消失するおそれがあります。愛知県の緑化推進のための基本施策に反し、地球温暖化防止に重要な役割を果たす緑地を事実上無くしてなりません。

県警には別の場所に自ら用地を取得して移転するよう要請し、過去の経緯を踏まえ、江南市が一方的に不利にならない対応を求めました。また、公共施設の大規模な現状変更にあたることから、近隣住民に十分に説明し意向を尊重するよう求めました。

市は「大きくなり過ぎた樹木の保安経費や危険事象の問題も発生している。新たに公園を整備する場合には、

保全経費を考慮し緑化を推進する」「すべての費用を市で賄うには財政負担が大きく、愛知県と一体で進めていけるよう協議していく」「都市計画変更手続きの中で説明会や変更案の縦覧を実施する」などと答弁しました。



かけのまち子議員

他に
・給食の多様な非喫食者への支援を
・高すぎる国保税引下げ
・新たな公共交通の導入
・介護保険料の引下げも質問しました

学童保育の待機解消と保育内容の充実を

夏休みの待機児童52人！

5月末129人であった待機児童が派遣の支援員等の確保により、77人減少しましたが、52人の児童が待機になり、児童一人で留守番することになったか、保護者が仕事の時間を減らしたり、やめたりすることになる深刻な事態になりました。

施設拡充と支援員増員の具体案を提案しました。

体育館利用が夏休み中1回だけの学童も

今年からエアコンの入った体育館の使用が可能になり、週3回程度子ども達が体育館でのびのび遊ぶことができるようになりました。

しかし、学校敷地内に学童保育所がないところでは、体育館まで子ども達を連れて往復するのが大変で、夏休み中1回だけの利用の学童もありました。

待機解消と夏休みの体育館利用には、学校敷地内に十分な広さの施設が必要であることが明らかになりました。

新しい施設の建設がすぐに無理なら、夏休みだけでも学校内の教室を使えるようにすべきと質しました。

「夏休み中教室を使わせてもらうには、学校側との協議が必要であるが、暑い中、体育館を使えるようにするための方法について検討する」との答弁でした。

夏休み中の注文弁当の拡充を

古南学童に加え、今年は門弟山学童でも弁当の注文が始まりました。しかし、高齢者向けの弁当作りが中心の業者であるため、子ども達の口に合わず、残菜が沢山出る日もあったとのことで、内容の改善と他の学童への拡大について聞きました。

「弁当の内容はおおむね好評であったと聞いている。今の業者が更なる受け入れができるのか、新たに参入できる業者があるのか継続して調査していく」との答弁でした。

補聴器購入費助成の拡充を

江南市では、非課税世帯の方に購入金額の半額上限3万円の補助制度がありますが、他自治体では課税世帯の方にも、半額の1万5千円が助成されている所が増えてきました。江南市でも課税世帯への助成や上限額の引き上げなど拡充ができないかと質しました。

「助成金額の拡大と所得制限の緩和については事業費の増大に直結するので、事業の持続性を考慮しつつ慎重に判断する」との答弁でした。

岩倉市のように保健センターに簡易聴力測定器を置けないかと要望しましたが、「聞こえに問題を自覚した方は医療機関で専門的な検査を受けることが適切で、購入は考えていない」との答弁でした。



三輪 陽子議員

他に
・熱中症から市民を守るために
・健康で文化的な生活ができる生活保護費をも質問しました。



★ 9月議会には、市民団体から3つの請願が提出されました。これらの請願の審議と結果については、次号でお知らせします。